

第2章 各総室の平成26年度事業概要

第2章 - I 保健総室の概要

I - 1 指導予防課

1 医務薬務

(1) 医務

人口 10 万人当たりの医療施設数、医療従事者数とも、県平均、全国平均よりも少なく、また、医療施設、医療従事者がむつ市に集中しています。

病院等の立入検査は、病院等の医療機関が、医療法その他関係法令により規定された人員及び構造設備を有し、かつ適正な管理を行っているか否かについて検査することにより、科学的かつ適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的として行っています。

院内の事故防止対策の実施状況の確認のほか、医療従事者の勤務状況の確認に重点を置いて実施しました。

ア 医療施設数等

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
病 院	4	3	1			
病 床 数	632	584	48			
一 般	454	406	48			
精 神	54	54				
結 核	0	0				
感 染 症	4	4				
療 養	120	120				
一般診療所	44	36	1	3	1	3
無床診療所	35	28	1	2	1	3
有床診療所	9	8		1		
病 床 数	113	94		19		
歯科診療所	23	19	1	2		1
助 産 所	0					
施 術 所	35	32	3			
歯科技工所	6	4	1			1
介護老人保健施設	4	3		1		

※ 一般診療所には特別養護老人ホームに設置されている入所者専用の医務室等を含む。

イ 医療従事者数

(平成 26 年 12 月 31 日現在)

区 分	総 数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
医 師	104	95	6	3		
歯 科 医 師	36	32	2	1		1
薬 剤 師	83	77	2	4		

ウ 立入検査の状況

区分	24		25		26	
	対象施設数	立入件数	対象施設数	立入件数	対象施設数	立入件数
病 院	4	4	4	4	4	4
一 般 診 療 所	43	13	47	19	44	17
歯 科 診 療 所	24	8	23	6	23	9
助 産 所						
施 術 所	33	5	31	7	35	13
歯 科 技 工 所	6		6		6	

エ 救急告示医療機関

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

No.	施設名	所在地	告示年月日	TEL
1	むつ総合病院	むつ市小川町一丁目2-8	平成26年2月12日	22-2111
2	国民健康保険大間病院	下北郡大間町大字大間字大間平20-78	平成26年2月12日	37-2105

(2) 薬務

薬局・医薬品販売業・毒物劇物販売業のほとんどは、むつ市に集中しています。薬事監視は主に管理者の適正管理、手続等の記録の保存、制限品目の確認及び服薬指導の実施状況の確認に重点をおき実施しました。

また、麻薬取扱施設についても立ち入りし、記録・残数の確認等、適正使用についての指導を行いました。

ア 薬務関係施設数

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

区分	市町村名					
	総数	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村
医薬品製造業（専業）	1	1				
化粧品製造販売業	1		1			
化粧品製造業	1		1			
薬局製剤製造販売業	4	4				
薬局製剤製造業	4	4				
薬局	23	21	1	1		
店舗販売業	21	16	2	1		2
一般販売業	0					
卸売販売業	7	5		2		
配置販売業	0					
配置従事者	11	10		1		
特例販売業	1			1		
一般	1			1		
歯科	0					
ガス	0					
医療機器修理業	4	3		1		
高度管理医療機器等販売業等	32	28	1	3		
管理医療機器販売業等	129	117	7	2	2	1
毒物劇物販売業	41	29	3	6	1	2
一般	30	20	3	5		2
農業用	8	6		1	1	
特定品目	3	3				
麻薬取扱施設	58	49	2	5	1	1

イ 薬務関係監視の状況

区分	24		25		26	
	対象施設	監視件数	対象施設	監視件数	対象施設	監視件数
医薬品製造業（専業）	1		1		1	1
化粧品製造販売業	1		1		1	1
化粧品製造業	1		1		1	1
薬局製剤製造販売業	5	2	5	2	4	3
薬局製剤製造業	5	2	5	2	4	3
薬局	21	9	22	12	23	9
店舗販売業	20	12	21	11	21	9
一般販売業						
卸売販売業	7	4	7	4	7	4
薬種商販売業						
配置販売業	1	1				
特例販売業	2		1	2	1	
医療機器修理業	4	2	4	2	4	2
高度管理医療機器等販売業等	31	16	31	18	32	13
管理医療機器販売業等	119	18	125	9	129	12
毒物劇物販売業	40	20	41	18	41	19
麻薬取扱施設	5	30	56	38	58	29

ウ 大麻・けしの除去状況

大麻については、過去に管内で自生していた場所があるため調査しました。

けしについては、不正栽培の発見があり、栽培者に除去させました。

(i) 大麻除去本数

区分	年度		
	24	25	26
管内	調査除去延箇所数	8	
	除去本数		
県内	調査除去延箇所数	257	202
	除去本数	410, 312	288, 329
			77, 357

(ii) けし除去本数

区分		年度		
		24	25	26
管内	調査除去延箇所数	66	55	76
	除去本数	160	280	306
県内	調査除去延箇所数	385	409	241
	除去本数	22, 210	24, 615	8, 460

エ 献血バスによる献血状況

市町村献血推進協議会により、地域住民への献血思想の普及、職場における献血協力体制の組織化、献血バスの運行の手配等、広く献血活動が行われています。

管内献血者数 平成 25 年度 1, 725 人 → 平成 26 年度 1, 776 人

献血バス県全体 平成 25 年度 28, 174 人 → 平成 26 年度 27, 515 人

区分	全血献血（献血バス）				
	目標量 (L)	確保量 (L)	達成率 (%)	200ml (人)	400ml (人)
市町村					
むつ市	547.2	564.8	103.2	120	1, 352
大間町	45.6	46.8	102.6	8	113
東通村	45.6	44.8	98.2	2	111
風間浦村	22.8	11.2	49.1	2	27
佐井村	22.8	15.8	69.3	3	38
管内計	684.0	683.4	99.9	135	1, 641
青森県	11, 065.6	10, 554.6	95.4	2, 257	25, 258

※ 献血バス（成分バス）は、21 年度から廃止となっている。

オ 薬物乱用防止啓発活動

実施事項	開催日	場所	対象者	対象人数
青森県薬物乱用防止 指導員むつ地区 協議会総会	平成 26 年 7 月 2 日 (火)	むつ下北観光物 産館「まさかりプ ラザ」	青森県薬物乱用 防止指導員	11 名
研修会	平成 26 年 7 月 2 日 (火)	むつ下北観光物 産館「まさかりプ ラザ」	青森県薬物乱用 防止指導員	11 名
薬物乱用防止教室	平成 26 年 9 月 3 日 (水)	県立大間高校	生徒及び教職員	221 名
薬物乱用防止教室	平成 26 年 9 月 11 日 (木)	むつ来さまい館	むつ下北地区保 護司会員	19 名
平成 26 年度むつ地区薬 物乱用防止街頭キャン ペーン	平成 26 年 10 月 20 日 (月)	マエダ本店	一般住民	750 名
薬物乱用防止教室	平成 26 年 12 月 10 日 (水)	県立田名部高校 (定時制)	生徒及び教職員	96 名
薬物乱用防止教室	平成 27 年 3 月 17 日 (金)	はねやホテル	民生委員	26 名

2 感染症予防

(1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防・まん延防止を図るため、保健所に相談窓口を開設し、匿名での相談・無料の検査を月1回実施しています。HIV抗体検査の他、性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を行っています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
24	8	5	6	6		1	6	5
25	8	2	3		3			
26	8	4	8	3	8	3		

(2) ウイルス性肝炎検査・相談

ウイルス性肝炎（B型・C型）の感染者の早期発見と早期治療に結びつけ、肝硬変、肝がん等への進行を防ぐことを目的に、平成23年4月より無料の検査を月1回実施しています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
24		1						
25	4	1						
26	4	9	2	4	2	4		

(3) 感染症発生状況（全数把握感染症）

(人)

病名		平成24年	平成25年	平成26年
一類感染症	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	ペスト			
	マールブルク病			
	ラッサ熱			
二類感染症	急性灰白髄炎			
	結核	22	20	10
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
三類感染症	コレラ			
	細菌性赤痢			
	腸管出血性大腸菌感染症		3	1
	腸チフス			
	パラチフス			
四類感染症	ライム病			
	ツツガムシ病	1		

病 名		平成24年	平成25年	平成26年
五類感染症	クリプトスポリジウム症			
	アメーバ赤痢	1		
	ウイルス性肝炎（A型・E型除く）			
	梅毒			
	バイコマイシン耐性腸球菌感染症			
	麻しん			
	その他の感染症（省令で規定）	1（クロイツフ エルト・ヤコブ病）		

注) 感染症発生動向調査システムデータから

(4) 感染症サーベイランス事業（定点把握感染症）

管内における定点医療機関は6か所で、インフルエンザ6か所・小児科4か所・眼科1か所・基幹1か所からの報告を集計し、週単位または月単位で県や国へ報告しています。

平成26年において、最も報告数が多いのはインフルエンザ、これに続いて、感染性胃腸炎となっています。

感染症の発生動向をみながら、関係機関に情報提供し感染拡大防止に活用しています。

感染症サーベイランス年次状況

報告(届出)区分	調査単位(届出期間)	疾 患 名	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
インフルエンザ定点	週 (次の月曜)	インフルエンザ	2,438	1,749	2,615
		RSウイルス感染症	37	50	44
小児科定点	週 (次の月曜)	咽頭結膜熱	27	10	28
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	326	119	152
		感染性胃腸炎	1,347	1,138	1,388
		水痘	124	194	539
小児科定点	週 (次の月曜)	手足口病	264	227	8
		伝染性紅斑	14	1	15
		突発性発しん	95	84	60
		百日咳			
		ヘルパンギーナ	164	138	99
		流行性耳下腺炎	65	126	72
		急性出血性結膜炎			
眼科定点	週 (次の月曜)	流行性角結膜炎		1	
		性器クラミジア感染症	17	16	19
性感染症定点	月 (翌月初日)	性器ヘルペスウイルス感染症			1
		尖形コンジローム	3	1	2
		淋菌感染症	3		
		クラミジア肺炎（オウム病を除く）		1	
基幹定点	週 (次の月曜)	細菌性髄膜炎			
		マイコプラズマ肺炎	276	172	192
		無菌性髄膜炎			1
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16	11	2
	月 (翌月初日)	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			
		薬剤耐性緑膿菌感染症			
		薬剤耐性アシネトバクター感染症			

注) 感染症発生動向調査システムデータから

(5) 青森県肝炎治療特別促進事業（肝炎治療費助成制度）

平成20年度より、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ることを目的にインターフェロン治療による「肝炎治療医療費助成」を行っています。医療費助成の対象は年々拡大しており、平成26年9月にはC型慢性肝炎又はChild-Pugh分類AのC型代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（ダクラタスビル及びアスナプレビル併用療法）が医療費助成の対象になっています。

肝炎治療受給者証申請件数 (件)

区分 年度	インターフェロン治療	インターフェロン フリー治療	核酸アナログ製剤治療
平成26年度	13	4	33
平成25年度	14		28
平成24年度	5		21

3 結核予防

我が国における近年の結核罹患状況は、若年者層では低いですが、社会の高齢化と共に発病者の高齢化も進み全体では横ばいの傾向にあります。管内では、幸いなことに若年者の発病は少なく、集団感染事例は起きていませんが、受診の遅れや診断の遅れによる重症化がみられます。

平成19年4月1日より結核予防法が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合され、定期健康診断の結核検診は一般住民・事業所等の必ず検診を受けなければならない者（対象）が緩和されました。一方、接触者健康診断は通知から勧告、措置と強化されました。

(1) 結核診査協議会

結核診査協議会は月2回開催し、結核患者の入所命令の可否及び医療内容の適否について診査しています。

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (医療内容の適否)	感染症法第37条関係 (入所勧告の可否)	計 (件)	備考
平成26年	13	8	21	
平成25年	18	13	31	
平成24年	10	6	16	

(2) 新登録患者数（市町村・年齢別）

全国的には結核患者が高齢者に偏在する傾向は変わりませんが、若年者の発病も無くならない点を留意しなければなりません。管内の高齢者層の70才以上では、24年50%、25年50%、26年100%となっています。

(平成 26 年)

年齢階級	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計	結核感染症 (別掲)潜在性
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
市町村	4	9	14	19	29	39	49	59	69			
むつ市										7	7	3
大間町												
東通村												
風間浦村												
佐井村												
平成 26 年										7	7	3
平成 25 年							2	1	2	5	10	10
平成 24 年								1	1	2	4	3

(3) 全登録者数 (市町村・年齢別)

全登録者数は高齢者層に多く、70歳以上で57%を占めています。(平成26年12月31日現在)

年齢階級	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	計
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
市町村	4	9	14	19	29	39	49	59	69		
むつ市						1	1	1	2	8	13
大間町											
東通村					1						1
風間浦村											
佐井村											
平成 26 年					1	1	1	1	2	8	14
平成 25 年						1		2	3	4	10
平成 24 年						1		1	3	7	12

※ 潜在性結核感染症は除く

(4) 結核患者登録状況 (市町村・活動性別)

ア 新登録患者

(平成26年度)

市町村	計	性別		肺 結 核				活動性 肺 外 結 核
		男	女	登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌 陽性	菌陰性 その他	
				初回治療	再治療			
むつ市	7	6	1	2		2	2	1
大間町								

市町村	計	性別		肺 結 核				活動性 肺 外 結 核
		男	女	登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌 陽性	菌陰性 その他	
				初回治療	再治療			
東 通 村								
風 間 浦 村								
佐 井 村								
計	7	6	1	2		2	2	1

※ 潜在性結核感染症は除く

イ 全登録患者

(平成26年12月31日現在)

市町村	計	性別		活 動 性 結 核				不活動 性結核
		男	女	肺 結 核				
				登録時菌所見				
				喀痰塗抹陽性		その他の結核菌 陽性	菌陰性 その他	
初回治療	再治療							
む つ 市	13	10	3	1		1	1	11
大 間 町								
東 通 村	1		1					1
風 間 浦 村								
佐 井 村								
計	14	10	4	1		1	1	12

※ 潜在性結核感染症は除く

(5) 結核患者有病率及び罹患率

人口の少ない町村では、患者1人が有病率・罹患率に与える影響が大きく、増減の変動が大きくなるため単年の結果による評価が困難ですが、平成26年の罹患率は減少しています。

区分	人 口 H26・10・1推定人口	登録活動性 患 者 数	有 病 率 (人口10万人対)	新 登 録 患 者 数	罹 患 率 (人口10万人対)
む つ 市	58,617	3	5.1	7	11.9
大 間 町	5,904				
東 通 村	6,908				
風 間 浦 村	2,154				
佐 井 村	2,221				
平成26年	75,804	3	4.0	7	9.2
平成25年	77,063	3	3.9	10	13.0
平成24年	78,096	2	2.6	4	5.1

- (注) 登録活動性患者数：有病率は平成 26 年 12 月 31 日現在
 新登録患者数：罹患率は平成 26 年中
 ※ 有病率 = (年末活動性全結核患者数) ÷ (人口) × (10 万)
 ※ 罹患率 = (年間新登録患者数) ÷ (人口) × (10 万)
 ※ 潜在性結核感染症は除く

(6) 定期結核健康診断

ア 一般住民結核検診状況

(平成 26 年度)

種別 市町村別	胸部 X 線撮影			BCG 接種		
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	被注射者数 (D)	受診率 (D)/(C) %
むつ市	9,832	2,338	23.8	497	473	95.2
大間町	555	242	43.6	37	35	94.6
東通村	3,664	720	19.7	84	65	77.4
風間浦村	822	171	20.8	9	9	100.0
佐井村	622	209	33.6	5	5	100.0
平成26年	15,495	3,680	23.7	632	587	92.9
平成25年	13,257	2,547	19.2	516	397	76.9
平成24年	14,543	3,240	22.3	589	509	86.4

(注) (B) は間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を含む。

イ その他事業所等結核健康診断状況

(平成 26 年度)

	エックス線検査			精密検査 指導区分			
	対象数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	対象数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (C)/(D) %	菌検査
使用者	1,286	336	26.1	3	3	100.0	1
学校長	360	357	99.2	4	4	100.0	
施設長	561	496	88.4	34	26	76.5	
平成26年度	2,207	1,189	53.9	41	33	80.5	1
平成25年度	2,913	2,821	96.8	40	33	82.5	2
平成24年度	3,585	3,478	97.0	35	34	97.1	

(7) 接触者健康診断

接触者健康診断においては、胸部X線検査 32 件、QFT-3G検査 24 件実施しました。

		胸部X線検査 直接撮影者数	QFT-3G検査数	被発見者	
				結核患者	発病の恐れがある者
接 触 者 健 康 診 断	家 族	18	9		1
	そ の 他	14	15		

(8) 相談及び訪問指導状況

全登録者 14 名のうち、12 名に対し延べ 28 件の訪問指導を実施しました。所内相談は 16 件（うちDOTS11件）、電話相談は接触者や施設からの感染不安、健診等を主に 18 件でした。

(9) 結核対策特別促進事業

ア 院内 DOTS カンファレンス

喀痰塗沫陽性患者 3 名中、1 名について独立行政法人国立病院機構青森病院で実施しました。他 2 名については、1 名は入院中に死亡、1 名は他疾患で転院となったため、実施はありませんでした。

実施回数：1 回

イ 地域 DOTS カンファレンス

対象者がありませんでした。

4 会議

(1) 下北地域保健医療推進協議会

この協議会は、青森県保健医療計画に基づく地域における保健医療活動を効果的に推進するために設置しており、保健医療福祉に従事している者、学識経験者、行政機関の職員及び関係団体の役職員等を委員に、地域の課題や取り組みについて協議し、保健医療計画に反映していくものです。

平成 26 年度は、以下のとおり地域協議会及び保健対策部会を開催しました。

開催日時	開催場所	出席数	内 容
平成 26 年 9 月 2 日(火) 18:30~20:00	むつグラ ンドホテ ル	委員 26 名 オブザ ーバー 3 名	◆第 1 回下北地域保健医療推進協議会及び同保健対策部 会合同会議 1 役員改選 2 議事 (1) 情報提供 下北地域の抱える健康課題について (2) 報告事項 ア I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) の取組 状況について イ 平成 26 年度下北地域健康なまちづくり事業に ついて

開催日時	開催場所	出席数	内 容
平成 26 年 9 月 2 日(火) 18:30～20:00	むつグラ ンドホテ ル	委員 26 名 オブザ ーバー 3 名	(3) 協議事項 ア I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) の推進 について イ 平成 26 年度下北地域健康アップフォーラムの 開催について
平成 26 年 11 月 22 日 (土) 13:15～15:30	下北文化 会館	保 健 医 療 関 係 者 や 一 般 住 民 等 900 名	◆平成 26 年度下北地域健康アップフォーラム (1) オープニング 青森県立むつ工業高等学校生と星美幼稚園年長組 によるダンス (2) 開会あいさつ 青森県知事 三村申吾 下北地域保健医療推進協議会長 三上史雄 (3) 表彰式 親子でつくる下北食材を活用したヘルシーなご飯 レシピコンテスト (4) 健康トーク テーマ「下北の未来のために健康を考える」 青森県知事 三村申吾 むつ青年会議所 坂本大助氏 あおぞら組 島康子氏 (5) 特別講演 「わたしの健康管理術～アニメ「サザエさん」 がんばりました 45 年！！」 講師 声優・俳優 加藤みどり氏 (6) その他：体験・展示コーナー、試食コーナー、 ゆるキャラふれあいコーナー、運動コーナー、 バルーンアートコーナー
平成 27 年 3 月 12 日(金) 18:30～20:00	むつグラ ンドホテ ル	委員 25 名 オブザ ーバー 2 名	◆第 2 回下北地域保健医療推進協議会及び同保健対策部 会合同会議 1 議事 (1) 報告事項 ア I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) の進捗 状況について イ 平成 26 年度下北地域健康なまちづくり事業 実施状況について (2) 協議事項 I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) の推進に 向けて

(2) 下北地域新型インフルエンザ対策協議会

この協議会は、下北地域における新型インフルエンザ対策の充実を図るため、二次医療圏ごとに設置され、医療・消防・警察・行政関係者等を委員に、圏域における新型インフルエンザにかかる医療提供体制や下北地域新型インフルエンザ医療確保シートの策定について協議を行います。平成26年度は、以下の通り平成24年5月11日に公布された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に係る関係機関の役割等の説明と、下北地域における新型インフルエンザ発生時の対応等について、意見交換することを目的に協議会を開催しました。

開催日時	開催場所	出席数	内 容
平成27年 3月4日(水) 19:00～20:00	むつ グランド ホテル	委員 17名 事務局 9名 その他 2名	◆下北地域新型インフルエンザ対策協議会 1 会長及び副会長の選出 2 本件における新型インフルエンザ対策について (1) 新型インフルエンザ等対策マニュアル【医療提供版】 等について (2) 下北地域新型インフルエンザ医療提供体制シートに ついて 3 その他 ※災害医療対策協議会との合同会議

(3) 下北地域災害医療対策協議会

この協議会は、災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに平成26年度から設置され、医療・消防・行政関係者等を委員に、災害時の医療提供体制の確保・構築のために協議を行い、災害時には、圏域の災害医療に関する基本的な情報の収集・整理、医療資源の確認及び災害時の医療連携体制を構築するに当たって必要な資源の把握、関係機関の情報共有、医療ニーズの把握・分析等を行います。

平成26年度は、以下のとおり協議会を開催しました。

開催日時	開催場所	出席数	内 容
平成27年 3月4日(水) 18:00～19:00	むつ グランド ホテル	委員 13名 事務局 9名 その他 6名	◆下北地域災害医療対策協議会 1 会長及び副会長の選出 2 説明事項 災害時医療提供体制等について(医療業務課説明) 3 その他 ※新型インフルエンザ対策協議会との合同会議

5 研修

(1) 地域保健関係者研修

多様化・高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域において安心して生活できるよう、その支援者である地域健康福祉部・市町村等の地域保健関係者が、健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携強化の方法について研修することを目的として実施しました。

回数	年月日	研修内容		対象者	受講者数				
		テーマ	講師等		健康福祉部	市町村	関係者	その他	計
1	平成 26 年 7 月 16 日	保健師連絡会議 (第 1 回) (1) 情報提供及び情報交換 ①青森県保健師活動指針について②ソーシャルキャピタルの醸成について③自然災害時に備えた平常時の取り組みについて④下北地域健康まちづくり事業について⑤健康増進計画に係る今年度の取り組み緒について⑥リーダーとして思うこと、次期リーダーとして思うことは	なし	管内保健師 (リーダー期保健師、地域包括支援センター保健師)	7	8			15
2	平成 27 年 1 月 15 日	「被災地で住民の命を守る」 (1) 演題 「石巻市民の命と健康を守る～東日本大震災後の保健活動の実践から～」 (2) 演題 「石巻市民の命と健康を守る～まちづくり・地域包括ケアの挑戦～」	石巻市健康推進課 課長補佐 高橋 由美 石巻市立病院開成仮診療所長・石巻市包括ケアセンター長 長 純一	市町村関係者 医療機関関係者 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護・福祉施設・訪問看護ステーション関係者、地域健康福祉部	11	13	46	1	71
3	平成 27 年 2 月 27 日	保健師連絡会議 (第 2 回) (1) 情報提供及び情報交換 ① I LOVE 下北健康 21 (第 2 次) の進捗状況について②平成 26 年度下北地域健康なまちづくり事業の取り組み状況について③市町村の保健活動状況について (健康づくり宣言や次年度の重点活動等)	なし	管内保健師 (リーダー期保健師、地域包括支援センター保健師)	7	10			17

(2) 看護学生等実習状況

実習学校名	実習期間・学生数	実習内容
青森県立保健大学健康科学部看護学科 「地域看護学実習Ⅱ」	6月10日～11日 10名 6月17日～18日 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・所長、次長、各課長、各課担当者（母子・難病・精神・結核・感染症等）からの業務説明 ・家庭訪問見学、訪問後カンファレンス
弘前大学医学部保健学科 「地域看護学実習」	7月7日～8日 8名	
弘前医療福祉大学保健学部看護学科 「地域看護学実習Ⅱ」	10月8日～9日 6名	
青森県立保健大学健康科学部栄養学科	6月16日～20日 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・所長、次長、各課長、担当者（母子・健康づくり・地区組織活動）からの業務説明 ・健康教育、離乳食教室・給食施設巡回指導等見学
東北生活文化大学家政学部家政学科 健康栄養学専攻	6月16日～20日 1名	